

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

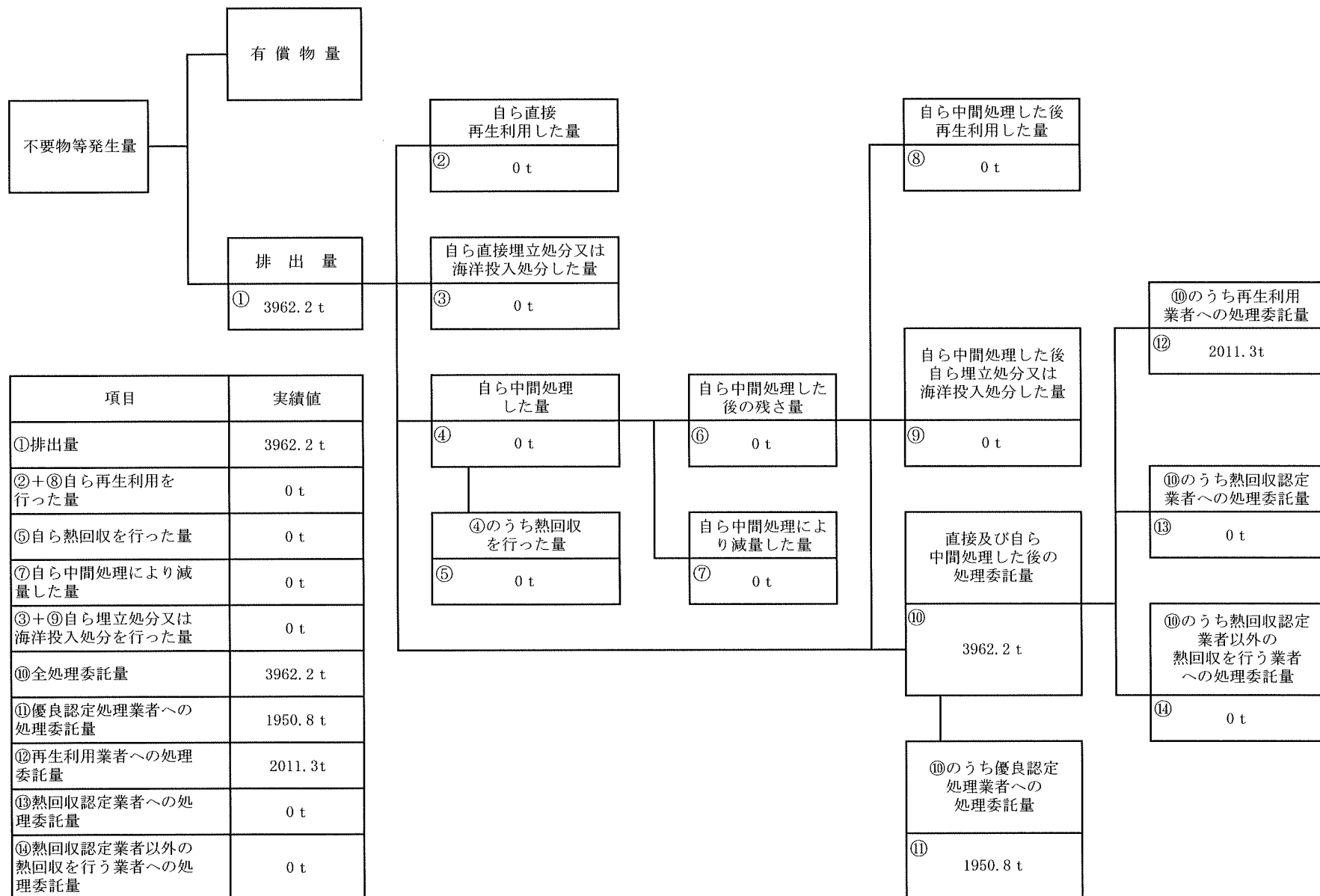
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年 6月 1日			
北九州市長 武内 和久 様			
提出者			
住 所 北九州市八幡東区前田1578-3			
日本製鉄㈱九州製鉄所構内			
氏 名 山九株式会社 E&M第一事業部			
設備土建部 西日本事業所			
事業所長 江藤 和之			
電話番号 093-672-6016			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	山九株式会社 E&M第一事業部 設備土建部 西日本事業所		
事業場の所在地	北九州市八幡東区前田1578-3 日本製鉄㈱九州製鉄所構内		
事業の種類	06 建設業・総合工事業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	3,541.7 t	全 処 理 委 託 量	3,541.7 t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,599.4 t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,942.3 t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

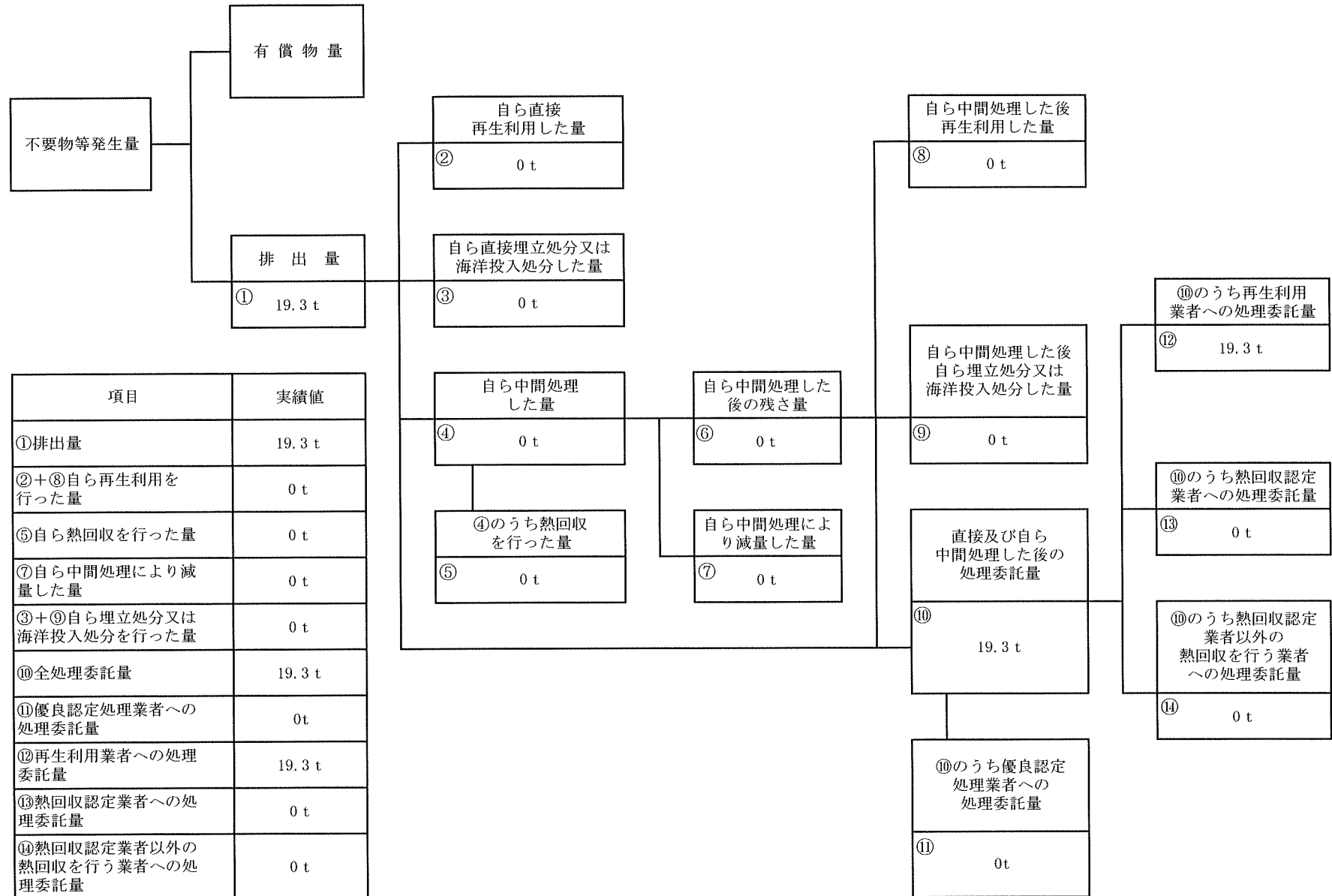
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



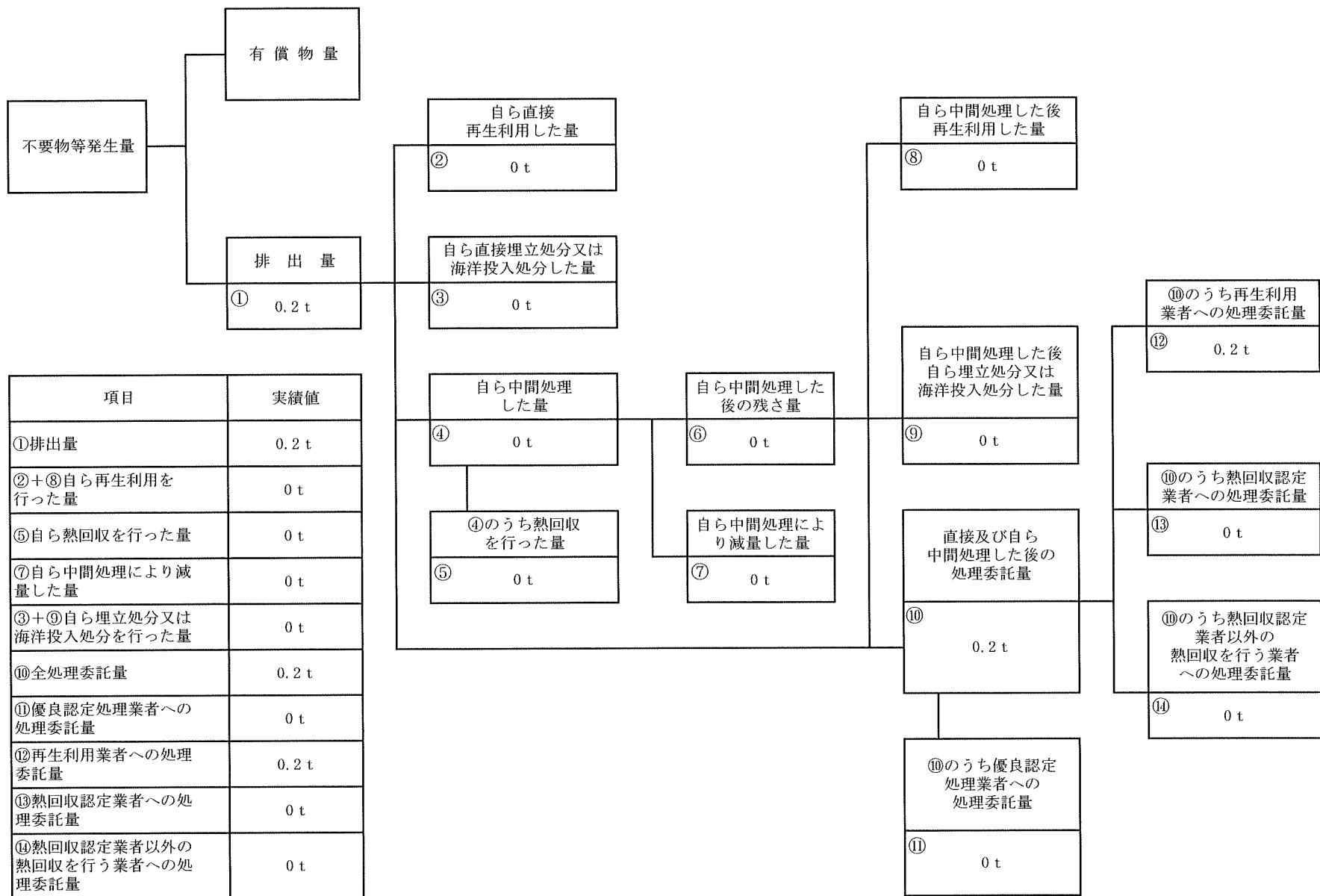
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)



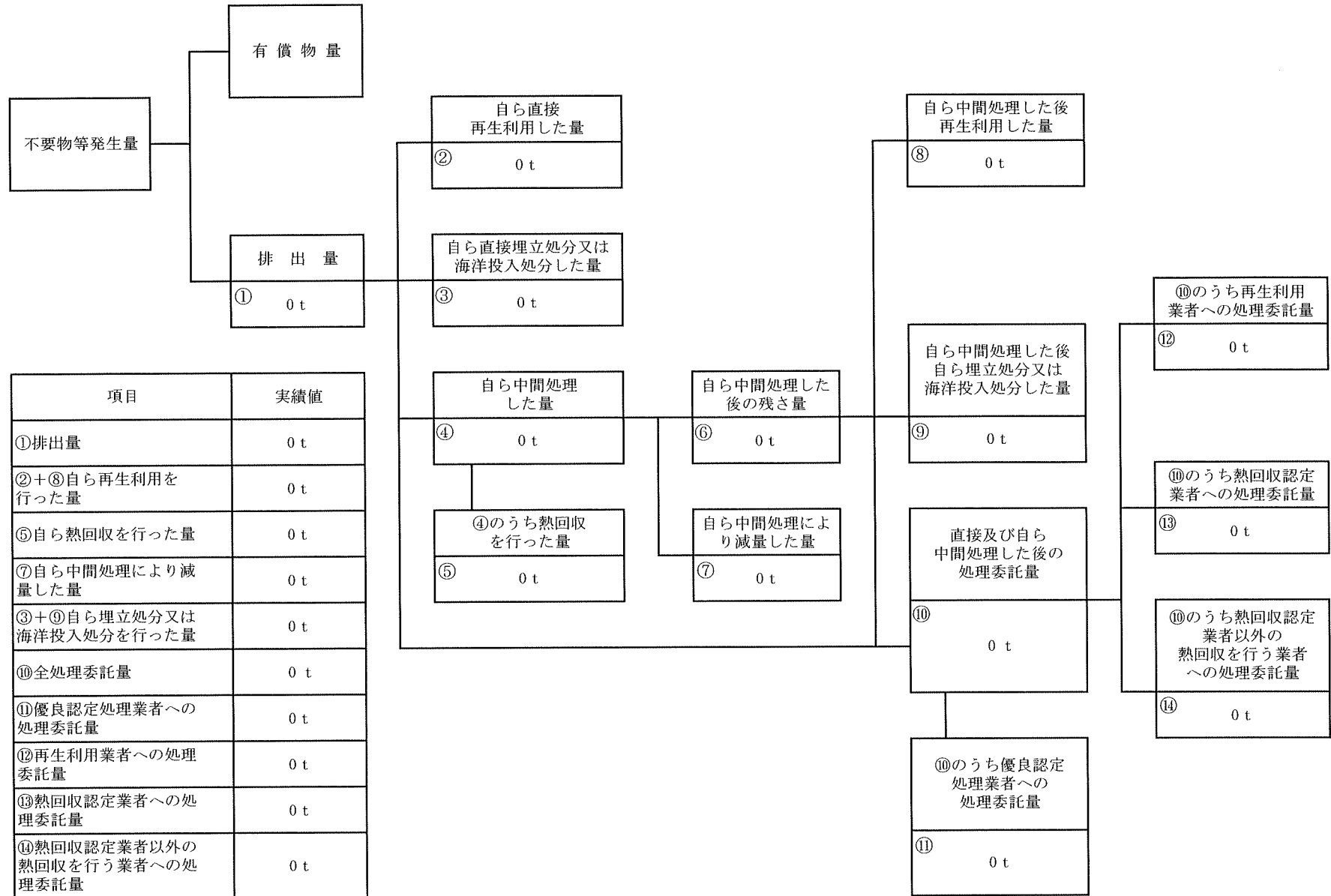
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油(廃水/油水))



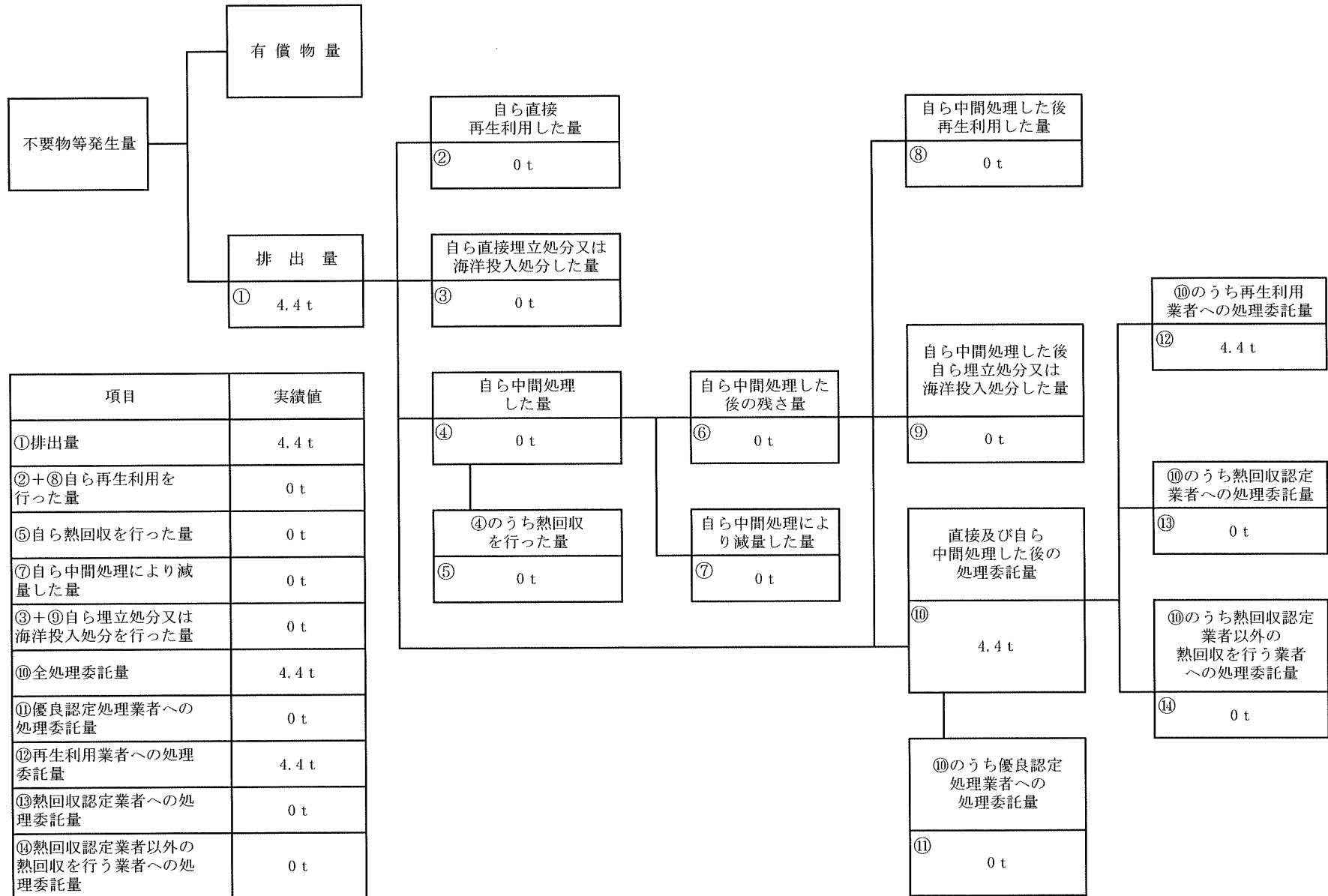
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



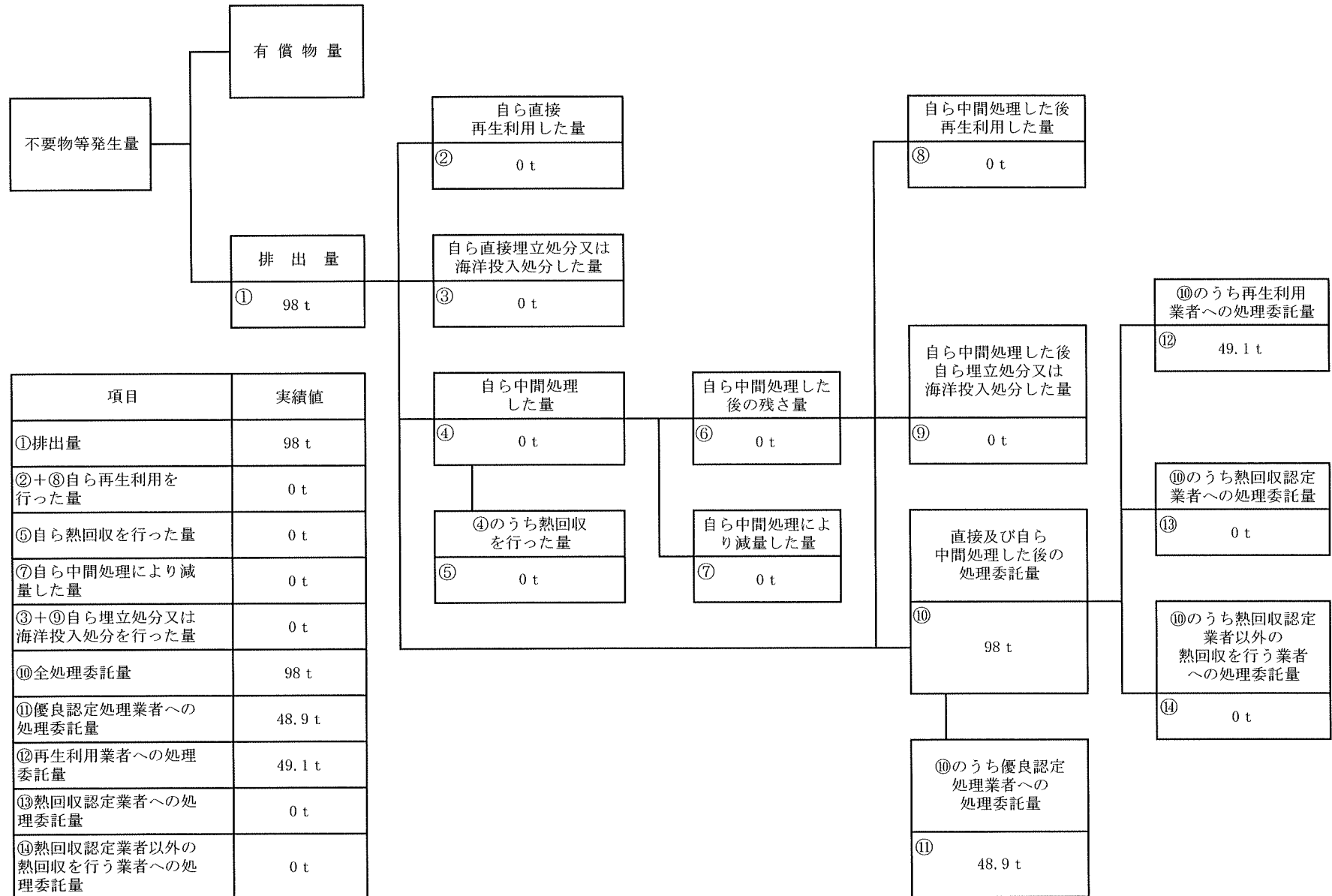
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず)



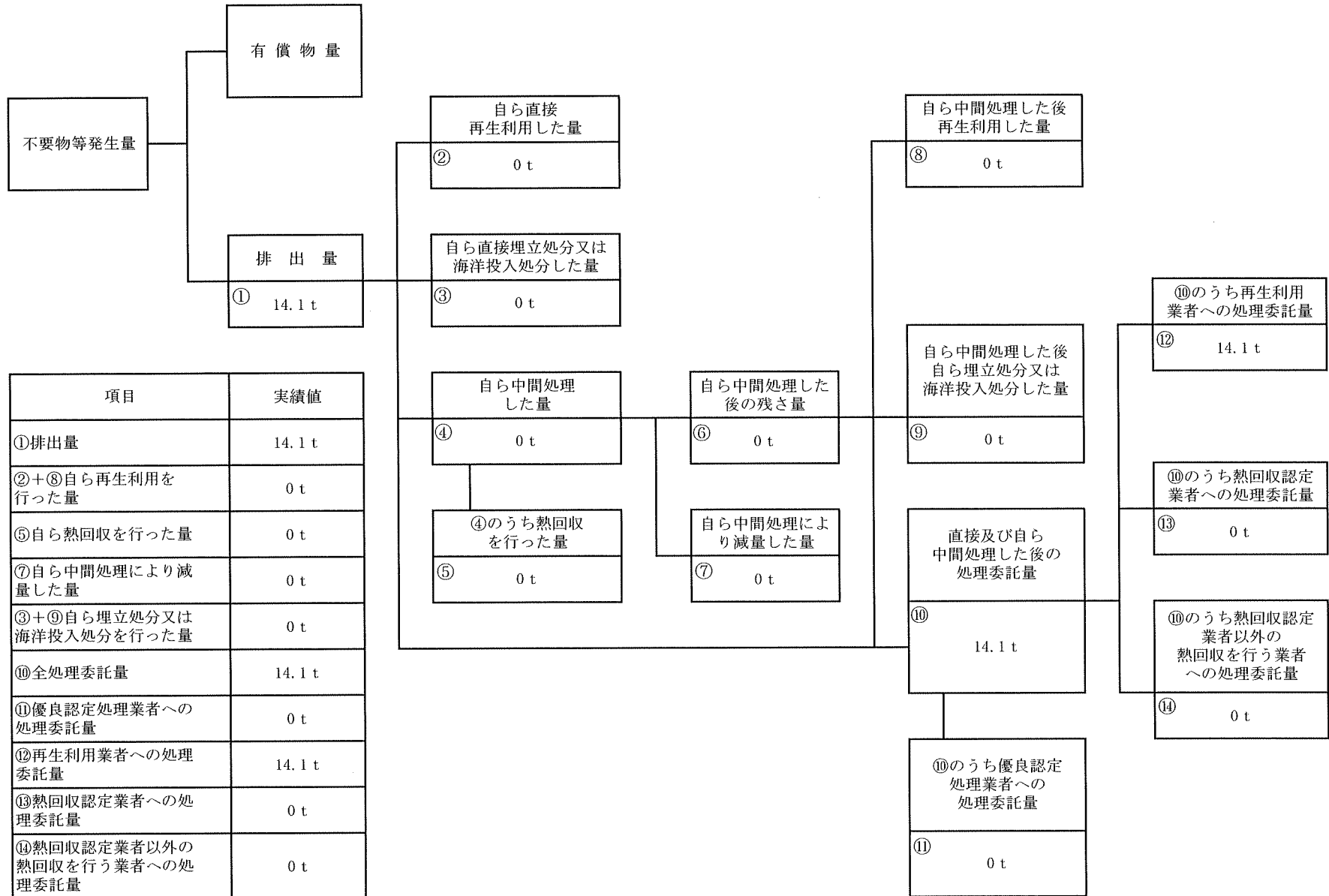
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)



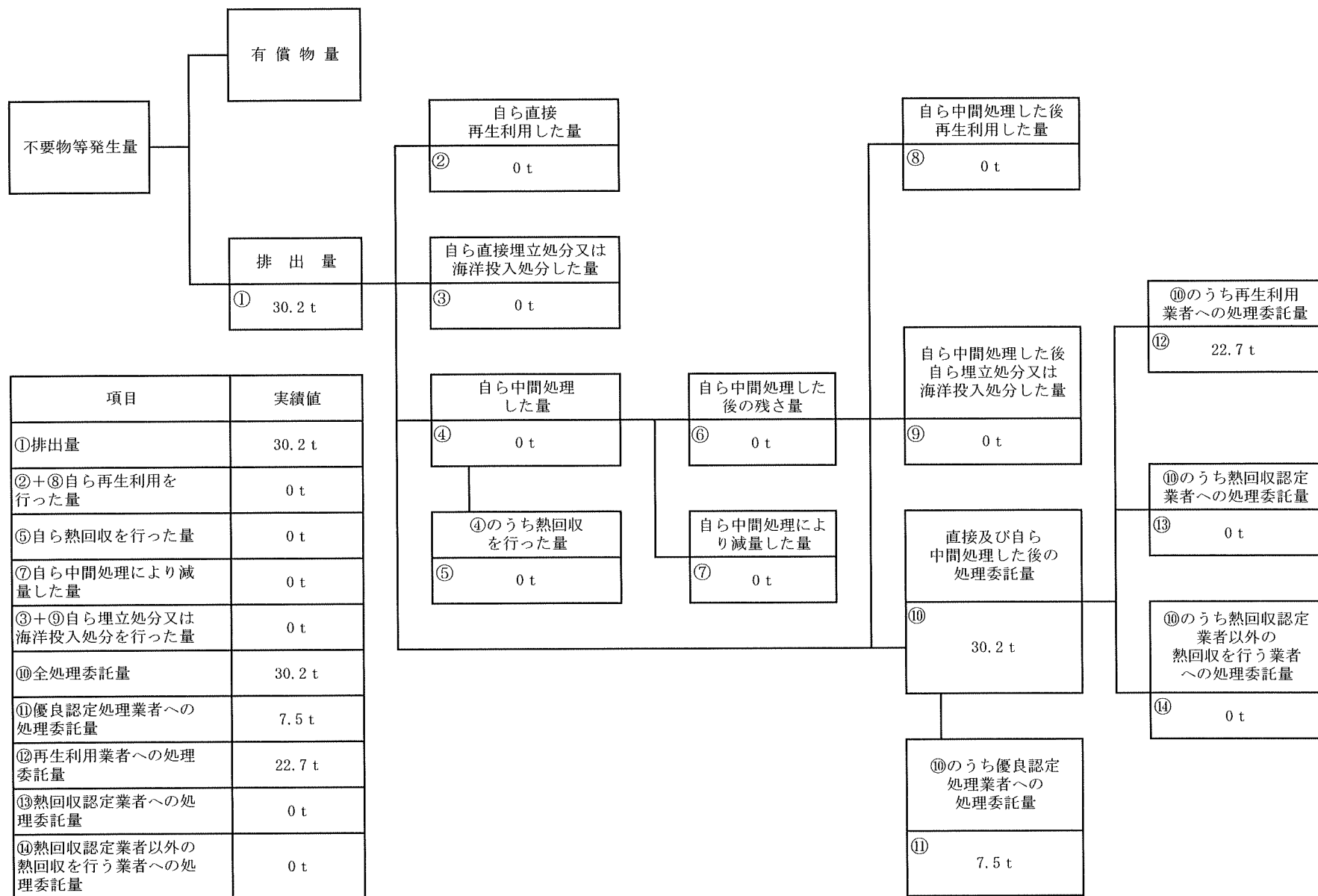
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



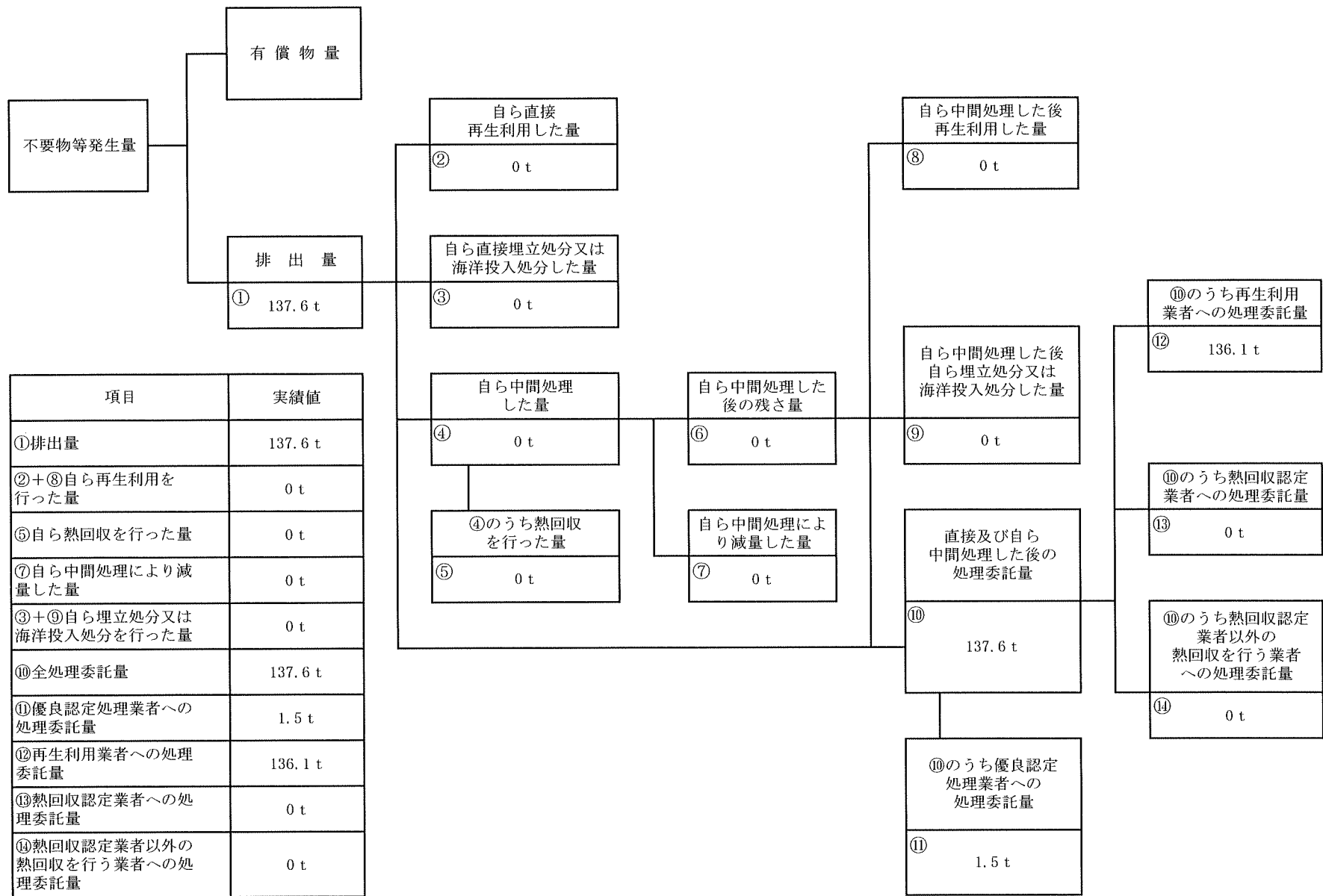
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)



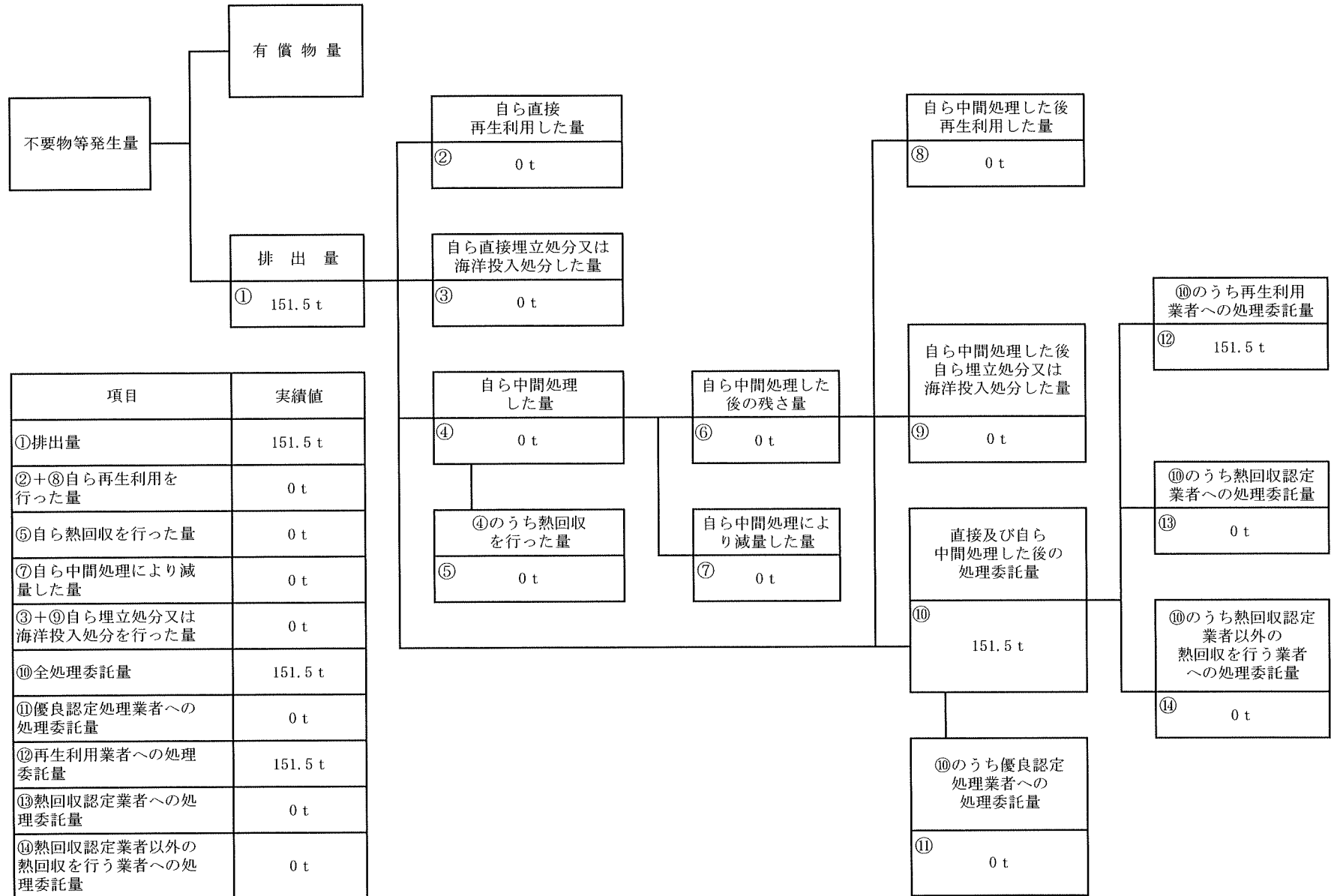
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 絨さい)



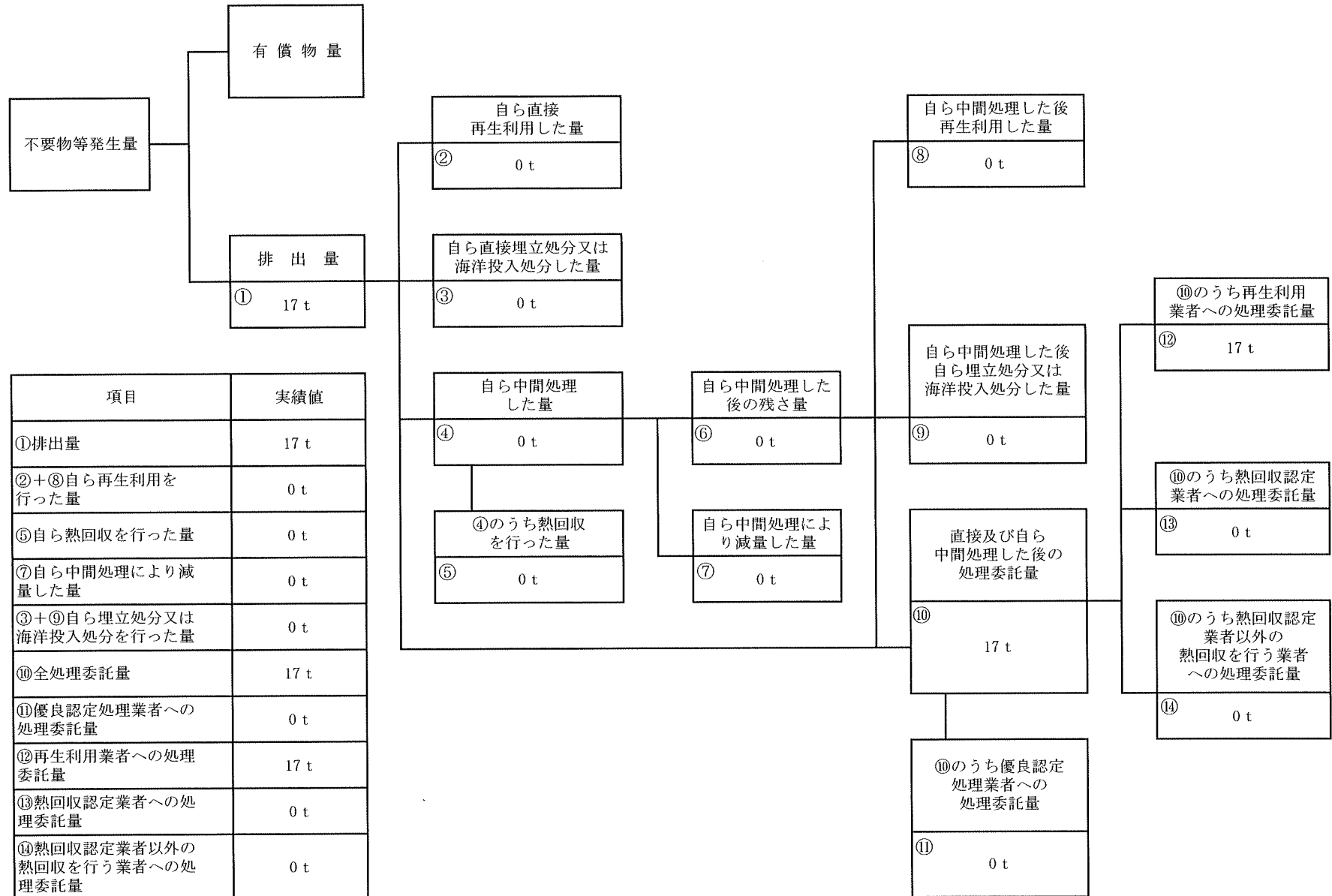
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物)

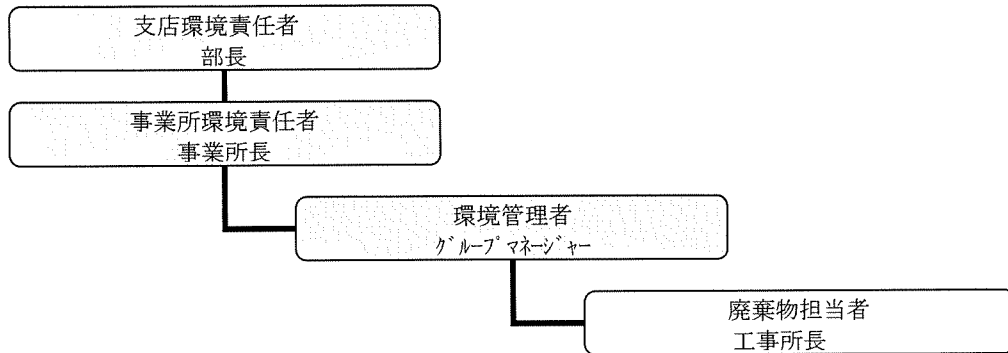


--	--	--

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 1日	
北九州市長 武内 和久 様	
提出者 住 所 北九州市八幡東区前田1578-3 日本製鉄㈱九州製鉄所構内 氏 名 山九株式会社 E&M第一事業部 設備土建部 西日本事業所 事業所長 江藤 和之 電話番号 093-672-6016	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	山九株式会社 E&M第一事業部 設備土建部 西日本事業所
	北九州市八幡東区前田1578-3 日本製鉄㈱九州製鉄所構内
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 建設業・総合工事業
②事業の規模	売上高 93,4億
③従業員数	136人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	事業所・工事現場 がれき類他 委託処理（中間：焼却他） 委託処理（最終：埋立他） 委託処理（最終：埋立）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和5年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃棄物の分別を徹底し再生利用を促進した ・ 工法改善による減容化 ・ 端材の発生抑制等により削減に努めた		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 再生利用業者への処理委託を継続拡大する ・ 各種産業廃棄物の分別徹底 ・ 工法を含め、端材の発生抑制等により削減に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 多量に発生するがれき類の分別を的確にまた積極的に推進した
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 今後も現場・事業場単位の徹底した分別管理を継続する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	これまでに自社での産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行った事はない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も自社での埋立／海洋投入処分を行う予定はない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和5年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物処理業者への訪問調査(現地確認)の実施 ・電子マニフェスト利用業者の選択 ・電子マニフェスト運用状況管理 ・優良認定業者への委託推進		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	別紙参照
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 産業廃棄物処理業者への定期的な訪問調査(現地確認)の実施。 ・ 可能な限り再生利用業者へ委託するとともに、優良認定を受けた 処理業者に委託を行う ・ 再生利用可能産業廃棄物の分別徹底		
※事務処理欄			

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラ陶
現状【前年度実績】	3962.2 t	19.3 t	0.2 t	0.0 t	4.4 t	98.0 t	14.1 t	30.2 t
計画【目標】	3843.3 t	18.7 t	0.2 t	0.0 t	4.2 t	95.1 t	13.6 t	29.3 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

[illegible]

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃油	廃プラ	紙くず	木くず	金属くず	ガラ陶
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	紬さい	建設混合	廃石綿					
現状【前年度実績】	137.6 t	151.5 t	17.0 t					
計画【目標】	133.5 t	146.9 t	16.5 t					

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	紬さい	建設混合	廃石綿					
現状【前年度実績】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					
計画【目標】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	紬さい	建設混合	廃石綿					
現状【前年度実績】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					
計画【目標】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	紬さい	建設混合	廃石綿					
現状【前年度実績】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					
計画【目標】	0.0 t	0.0 t	0.0 t					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	紬さい	建設混合	廃石綿					
現状【前年度実績】	全量処理委託量	137.6 t	151.5 t	17.0 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	0.0 t	0.0 t				
	再生利用業者への処理委託量	136.1 t	151.5 t	17.0 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
計画【目標】	全量処理委託量	133.5 t	146.9 t	16.5 t				
	優良認定処理業者への処理委託量	1.5 t	0.0 t	0.0 t				
	再生利用業者への処理委託量	132.0 t	146.9 t	16.5 t				
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t				